

道徳性開発の強化

マリリン・ヒギンズ

世界はよりよい道徳を必要としている。私たちは人生の目的とその目的を達成する力を理解する必要がある。これらを理解すれば、私たちは命という贈り物やこの世で過ごす時間を最も有効に使用できる。道徳性開発の一つの取り組みは、私たちの持つ力や美徳の認識、それをどのように伸ばし、守り、善用するかにかかっている。愛、忍耐、誠実のような美徳はこの世で暮らしている間に開発される魂の成果である。これらの力は誕生した時に与えられるが、それらの美徳がいかによく顕れ、その可能性を十分発揮するかどうかは、どのように育てられるか、禁じられるか、あるいはゆがめられるかによって変わってくる。種子が土の性質、雨、日光、季節の厳しさや穏やかさの量によって影響されるのと全く同じように、私たちの力は、愛や知識を通して引き出され、開発される。あるいは、無視や誤用によって妨害されたり、ゆがめられたり、悪用されたりする。

そこで、学校で道徳性を発達させ、好ましい環境を作るために、教師の果たす役割についての研究成果を発表する。調査は中国の農村地域や日本の山口県にある中学校の教師を対象に行われた。その結果、道徳的態度や学生として積極的な態度で評判のいい学校の先生達は、生徒の美徳を発達させる上で、次の8つの活動が重要であることを提案している。

1. 生徒の感じている困難を気遣う。
2. 規則、問題、教育課程について生徒と協議する。
3. 生徒の才能に気づき、能力開発を励ます。
4. 授業をおもしろくするために創造的、協力的活動を見つける。
5. 精神性を発達させる雰囲気を作る。
6. 物語や文学を論じている時に、正直とか優しさのような特質を指摘して美徳を教える。
7. さまざまなライフスタイルの中のよい役割モデル（模範）を指摘する。
8. 学校の全職員が美徳のよい役割モデルとなる。